

科研費による国際共同研究の推進(イメージ)

資料2-5

I 基金

〈現〉

国際共同研究加速基金

「国際共同研究強化」

- ・36-45歳 「基盤研究」等の既採択者
- ・派遣期間 半年～1年以上程度

「帰国発展研究」

- ・海外在住日本人研究者に対する予約採用

国際共同研究の
基盤の強化・更なる
厚みの追求

〈新〉

国際共同研究加速基金

「国際共同研究強化(A)」(仮称)

- ★年齢要件下限の引下げ(36歳→32歳(※))
- ※36歳未満の者であっても、博士号取得後5年以上経過した者の応募を可能に

「国際共同研究強化(B)」(仮称)

- ★研究対象・方法の一般化
- ★国際発信、グループへの若手参加の要件化
- ★支援規模の一本化(「基盤研究(B)」程度を目安【P】)

「来日発展研究」(仮称)

- ★海外の外国人研究者(※)への対象拡大
- ※日本の研究機関を活動の基盤とすることが条件

派遣型

招聘型

II 補助金

「海外学術調査(基盤研究A・B)」

- ・研究対象・方法をフィールド調査等に限定

「国際共同研究強化」と「海外学術調査」見直し後の種目との比較

| | 国際共同研究強化(A) (仮称) | 国際共同研究強化(B) (仮称) (海外学術調査の見直し等) |
|-------------|----------------------------------|---|
| 見直しの方向性(要約) | 年齢要件の見直し | 研究対象・方法の一般化による国際共同研究の更なる強化、競争的環境下における支援の有効化 |
| 個人・グループ | 個人 | グループ |
| 応募要件 | 「基盤研究」「若手研究」採択者であって、32歳以上45歳以下の者 | 無し |
| 応募総額 | 1200万円以下 | 2000万円以下 |
| 研究期間 | ～3年 | 3～6年 |
| 派遣期間 | 半年～1年程度 | 柔軟な往復を可能化 |
| 研究計画に課される要件 | 無し | 国際発信、若手研究者の参画、海外共同相手(グループ)の調書への記載等 |
| 経費 | 渡航費・滞在費、研究費、代替要員確保のための経費 | 研究費のみ(旅費等を含む) |